

国民主権、思想信条の自由と民主主義の  
原則と相いれない

# 安倍元首相の 「国葬」に反対

奈良を「聖地」にするな

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部  
本部は7月18日、安倍晋三元首相の「国葬」反  
対の声明〔別紙〕を発表しました。安倍晋三元  
首相の銃撃事件がおこった奈良の地を安倍氏  
の礼賛、神格化の「聖地」にしてはなりません。  
この奈良から安倍晋三元首相の「国葬」反対  
の声を、はがき、電話、ファクスなどで国会、地  
方議会、マスメディアに呼びかけて行きまし  
う。

## 第34回治安維持法同盟 奈良県本部総会案内

日時：8月21日(日)

13:30～16:30

場所：奈良市生涯学習センター  
(JR奈良駅から徒歩7分)  
3階学習室

内容：県本部総会議案

映画「伊藤千代子の生涯」予告編



奈良県版

No. 355

2022年8月15日

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
奈良県本部  
〒631-0033

奈良市あやめ池南1-9-27  
加藤宜之気付

☎ 0742-43-0762

振替 0990-2-209460

治安維持法同盟  
奈良県本部

## われわれの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

# 故安倍晋三元首相の「国葬」に反対する

2022年7月16日 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部

岸田文雄首相は14日、参院選の街頭演説中に銃撃を受け死去した安倍晋三元首相の「国葬」を秋に行うと発表した。

私たちは、参院選挙の最中に行われた安倍氏への銃撃殺害事件に対し、自由と民主主義を破壊する暴挙として、厳しい糾弾を表明する。また、非業の死に対しては、心より哀悼の意を表明するものである。

岸田首相は、安倍元総理は「憲政史上最長の8年8か月にわたり、卓越したリーダーシップと実行力をもって総理大臣の重責を担い、東日本大震災からの復興や日本経済の再生、日米関係を基軸とした外交の展開など様々な分野で実績を残すなど、その功績は素晴



教育関係者が子どもと学校に「弔意」押し付けるなど唱和(4日、衆議院議員会館前で)

らしいものがある」と述べている。しかし国民のなかで、安倍元首相の政治的立場や政治姿勢に対する評価は大きく分かれている。「国葬」をおこなうことは、国家として安倍氏の政治的立場や政治

姿勢を賛美・礼賛することになる。これは、日本国憲法の国民主権、思想信条の自由と民主主義の原則と相容れないものである。私たちは「国葬」に強く反対するものである。

安倍首相は在任中、閣議決定で憲法解釈を集団的自衛権行使を可能なものに変更し、国民の強い反対を押し切つて、安保法制(戦争法)を強行、立憲主義を根本から破壊した。さらに、首相法など任中、特定秘密保護法、共謀罪法など「戦争する国づくり」を推進し、「新たな戦時体制(現代版治安維持法体制)形成の最終段階」の土台を構築したものである。

政府の一方的評価によって国民の血税を使って「国葬」を国民に押し付けることは、日本国憲法の国民主権の原則に違反するものであり、わたしたちは強く反対を表明するものである。

## “ロシアは侵略やめよ” 6回目の集会&デモ

### ウクライナから即時撤退求め



結の翌日にウクライナ南部の港湾施設に攻撃したことに抗議し、戦争が終結するまで、24日ごとに集会を継続することを決意しました。

集会後、JR奈良駅前広場に集まった約60人の参加者は、県内有数の繁華街「三条通り」をデモ、街行く人にアピールし、1万7000円のウクライナ支援募金が寄せられました。

#### 計報

### 柳河瀬精氏の ご逝去を悼む

柳河瀬精さんは、国賠同盟大阪府本部の会長であると同時に全国同盟の会

長として、全国の同盟の発展に大きな足跡を残されました。

また、奈良県同盟にも多大なご援助をいただきました。中央本部会長在任中は、奈良県同盟の総会には、必ずと言っていいほどご出席していただき、ご指導いただきました。奈良県同盟の重要な資料の一つに、『特高月報』がありますが、これは柳河瀬さんのお計らいで、大阪府本部から寄贈されたものです。

柳河瀬さんの生前のご奮闘に心から敬意を表すとともに、奈良県同盟に与えていただいたご援助とご激励に心からお礼申し上げます。柳河瀬さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

2022年7月22日

治安維持法犠牲者国家

賠償要求同盟

奈良県本部

会長 田辺 実

ロシアのウクライナ侵略から5ヶ月となる7月24日、ロシアのウクライナ侵略を許さない第6回奈良県民集会が開催されました。

集会ではロシアがウクライナ、ロシア、トルコ、国連の4者での穀物輸出協定締



戦時中の日常生活での展示品を見る参加者

**第27回平和のための奈良市戦争展が開催される**

7月28日から31日までの4日間、国賠同盟も参加する奈良市実行委員会主催で平和のための戦争展が開催され、約280人が来場し、参加した市民に大きな感動を与えました。

会場では連日、在日ウクライナ大使館提供の悲惨なウクライナ侵

## 満洲引き揚げを描く迫真の大作 王希奇展 - 1946-神戸展

昨年11月に高知市で開催され、県同盟からも多くの会員が中国人画家王希奇の描いた[縦 3m×20m]の作を鑑賞し、多くの感動をもらいました。

1945年8月の日本敗戦後の旧満州[現中国東北部]にいた155万人は過酷で悲惨極まりない状況におかれていましたが、翌年5月からコロ島港から105万人が祖国日本に引き揚げてきました。

「母親の遺骨を抱いた少女」「老人を男性」など加害と被害の実相を知り、国境を越えた平和と人間愛の描いた絵画展にひとりでも多くの人々に鑑賞してもらいたいと思います。

記

日時:8月31日[水]~9月4日[日]10:00~18:00  
会場:県立原田の森ギャラリー本館2階大展示室[神戸市灘区王子公園隣り]

入場料:大人1,000円[大学生以下無料]

FAX予約:078-412-2228 「1946神戸展実行委員会」まで

略戦争の実態を告発した写真が展示され、28日には国賠奈良支部の大河原孝代さんが語り部として「満州からの引き揚げ体験」を講演し、29日には国賠奈良支部の秋山勝彦さんが被爆者として「広島・被爆体験」について講演しました。30日には国賠同盟員で生駒市在住

の水彩画家講師・田中彰治郎氏が「戦争画にみる大東亜戦争」と題する記念講演を行い、戦争画がプロパガンダとして戦意高揚をはかることを目的とした軍部の意図とは逆に、戦争の悲惨さや理不尽さが描かれ、平和の尊さを伝えるものになっていることを報告しました。

## 「長谷川テル訪問記念の碑」募金の報告とお礼

先般、反戦・平和を貫いた「長谷川テル訪問記念の碑」建立のための募金をお願いしたところ、早速、貴重な募金を寄せていただきお礼申し上げます。

募金には、「反戦平和を貫いた長谷川テルさんを誇りとし、手本としてこれからも生きていきたいです」「般若寺にテル碑建てる呼びかけを受け嬉しくもあり誇らしくもあり」など、思い思いの心のこもったメッセージを寄せていただいています。顕彰事業推進を大きく励ますメッセージに感謝いたします。

昨年秋、奈良・長谷川テル顕彰の会が200万円を目標に募金を訴えて以来、長谷川テル顕彰の会に直接寄せられた募金は、8月2日までに、長谷川テル顕彰の会会員、国賠同盟員、全国のエスぺラントや日中友好協会の関係者ら178名から約160万円の募金が寄せられています。加えて今回、提唱団体である国賠同盟奈良県本部として、国賠同盟員に訴えたところ、みなさんから次々と募金が寄せられ始めました。8月15日現在、39名の方から合計312,000円が寄せられています。みなさんから寄せられた募金は、一次分として近く一括して奈良・長谷川テル顕彰の会に寄託させていただきます。

先の訴えにもありますように、2016年5月29日に行った第30回治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部大会で長谷川テル顕彰事業の推進を決議し、奈良・長谷川テル顕彰の会の結成を呼びかけるなど長谷川テル顕彰事業の推進にあたってきました。こうした意味で、今回の国賠同盟奈良県本部の募金の取り組みは、「長谷川テル訪問記念の碑」建立の実現にとって特別の意義を持っています。

今日のウクライナ情勢、台湾をめぐる米中対立の激化、アメリカにつき従う岸田政権の危険な事態に直面している今日、反戦・平和を訴えぬいた長谷川テル顕彰事業は、極めて重要な意義を持つものです。

まずは、ご協力に心からのお礼です。引き続きご協力をお願い申し上げます。

2022年8月15日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部

会長 田辺 実

会長代行 加藤宣之

## 編集後記

このたび岸田首相は自民党役員人事とともに第二次岸田改造内閣を発足させました。岸田内閣は新型コロナの感染拡大や統一教会問題などで内閣支持率が急落し、国政の行き詰まりが先鋭化し、このたびの内閣改造、党役員人事で政権浮揚を図ろうとしています。

しかしコロナ問題では、第7波にわたる猛威をふるう新型コロナの感染拡大はWHO[世界保健機関]の発表で、7月24日現在までの1週間で日本の感染者数は約97万人で世界最多の国になっています。

また岸田内閣は、60%以上の国民の反対を押し切って、安倍晋三元首相の「国葬」を9月27日に行うことを強行的に閣議決定しました。

「統一教会」問題でも岸田首相は「厳正に見直す」と口にするものの、今回の党役員人事でも、内閣改造でも「統一教会」と関係を持つ人物を多数起用し、「見直し」は各議員個人に任せ、党として調査する姿勢も全くありません。

自民党は「統一教会」と関係のない議員では組閣出来ない、「統一教会」との深刻な癒着体質と安倍政治継承化の行き詰まりが明らかとなりました。

奈良県でも9月から始まる映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」の第二次上映運動成功と結んで、第40回全国大会の決定である、「一日も早く2万人の同盟建設」を実現しましょう。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事会